

令和7年度 第4回 和田東小学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和8年2月18日(水) 14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 和田東小学校 会議室
- 3 出席委員 渡瀬 三郎、小出 幸雄、鳥居 弘起、鈴木 佐知子
中村 まゆみ、杉山 洋介、芥田 弥保
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 宮地 俊晴(天竜協働センター)
- 6 学 校 堀部 憲一(校長)、中村 あづさ(教頭)、田中 寛人(教諭)
飛永 百合子(CSディレクター)、
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 飛永 百合子
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、小出委員から会長の鳥居委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 令和7年度学校評価について
- (2) 学校いじめ防止基本方針について
- (3) 来年度の学校運営の基本方針
- (4) 学校運営協議会の自己評価

11 会議記録

司会から、委員総数7人全員の出席があり過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。また、前回の会議録について説明があった。

(1) 令和7年度学校評価について

議長の指示により、田中教諭から資料に基づき説明があった。

- ・本年度第2回目の学校評価結果を受け、12月に職員でKPTシートを用いて、継続すべきこと、課題となっていること、挑戦することを出し合った。その結果として、①安全意識の低さ ②家庭学習の方法 が来年度の課題として挙げた。
- ・②家庭学習の方法については、来年度研修の中で「自分で学習計画を立てること」「子どもに委ねる場面をつくること」などを進めていく。委員の皆様には、①安全意識の低さについて、改善を図るような手立てなどについてご意見をいただきたい。

委員からは以下のような発言があった。

- ・自転車の乗り方が危ないのはよく見る。保護者が強く指導しないといけない。(杉山委員)
- ・登下校時、子供たちは危険だという認識がないように思う。家庭で教えないといけない。(渡瀬委員)
- ・自転車専用道路はほとんどない。ハード面を整えるよう尽力したい。(小出委員)
- ・子供は危険なことが楽しいようだ。昔は交通安全教室で車にひかれた人形が飛んでいったが、そのようなことがあると映像よりは印象深いのではないか。(芥田委員)
- ・自転車について学校のルールはないのか。(渡瀬委員)

- ・今は自転車で出かけていい範囲とかは決めていない。保護者の考え方による。(教頭)
- ・家庭でしっかり指導しないといけない。(渡瀬委員)
- ・ヘルメットをかぶっていないとこうなるよ、と教えることは必要。(鳥居委員)
- ・走り回る子に「危ないよ」と言っても通じない時は、「スピード違反だよ」等、言葉を変えてみたらどうか。ヘルメットをしていない子供の保護者に注意したが、あまり気にしていないようだった。(佐知子委員)
- ・廊下歩行も危ない状況になっている。(教頭)
- ・校内では高学年が中小学年に言うと効果があるのではないかと。外部の方から通報があったら、その日のうちに放送等で伝えるのがいい。(中村委員)
- ・安全な通学路の環境整備については、行政に働きかけていく。(校長)
- ・家庭学習については、自分で計画を立てて学習していくよう、学校中心で進めていく。(田中教諭)
- ・携帯を触っている時間が多いようだ。(鳥居委員)
- ・ゲームをやっている子が多い。(渡瀬委員)
- ・スマホ携帯の指導は何年生でやりますか。(佐知子委員)
- ・以前は高学年だったが、今年度は3学期にすべての学年で指導した。(教頭)
- ・「鑑定団ゲームコーナー」への出入りは学校で規制しているのか。(渡瀬委員)
- ・学校では特に規制していない。(教頭)
- ・1回10円でゲームができるようだ。(中村委員)
- ・ゲームのある時代になっている。注意して対応しなくてはならない。(鳥居委員)

(2) 学校いじめ防止基本方針について

議長の指示により、田中教諭から説明があった。

- ・2月6日(金)までの、本校のいじめ認知件数は、38件であった。内訳はスライドの通り。基本的な対応方針としては、担任一人に任せず、組織で対応することを心掛けている。また、いじめ・問題行動初期対応フローに基づいて、丁寧に対応している。
- ・対応のポイントは、安易に解消とせず、その後の見守りを続けること、次年度への引継ぎを確実にすること、いじめが起こりにくい学級風土をつくっていくことである。
- ・児童アンケートで発覚した冷やかしの事例や保護者からの連絡で発覚した軽い暴力事例について、具体的にどのような対応を取ったのか。
- ・委員の皆様からは、本校のいじめ防止の取組についてご意見をいただきたい。

委員からは以下のような発言があった。

- ・ほんの小さなことも対応してくれている。子供がアンケートに書けないことがあるかもしれない。(芥田委員)
- ・アンケートで把握できればいいが、出てこないケースがあるのではないかと。解決していないこともあるかもしれない。また、いじめをいいことだというわけではないが、いじめられていた経験が成長につながっていることがある。(杉山委員)
- ・遊びに誘われなかっただけで傷つく子がいるのではないかと。(佐知子委員)
- ・友達との距離を取ろうとする子もいる。(渡瀬委員)
- ・職員は、子供たちをよく見ている。国で決めたいじめの定義に基づいて小さな事例にも対応

している。子供はいじめのつもりでやっているのではなく、お互いの誤解を解くようにしている。(校長)

(3) 来年度の学校運営の基本方針

議長の指示により、校長から来年度の基本方針について資料に基づき説明があった。

地域、保護者、教職員が協議した第3回学校運営協議会で子供の安全意識が低いという意見が多かったので、安全意識の向上を経営方針に盛り込んだ。承認いただくのは来年度になる。

(4) 学校運営協議会の自己評価

- ・学校運営協議会で8年度に取り組みたいというものを挙げていきたい。(鳥居委員)
- ・今年度やった教職員・保護者との会は有益なので来年度もやりたい。(渡瀬委員)
- ・今年度は保護者の方の参加が少し少なかったが、もう少し多くの方に参加していただけたらいい。(教頭)
- ・来年度は保護者ももっと参加できるといい。(杉山委員)
- ・今はいろいろな会が少なくなっているので、そのような協議の場があることはいいこと。学校から教育委員会へ吸い上げていただくことも必要だと思う。教育委員会の方にも学校運営協議会へ来ていただきたい。(小出委員)
- ・来年度の重点目標は、①地域、保護者、教職員の交流の会を持つこと②安心安全について取り組むこと、とします。(鳥居委員)

12 連 絡

教頭から、夢育やらまいかCS加算分6万円は、ボランティアの方へのお茶、花の苗、畑の土などに活用した旨の連絡があった。

また、学校支援コーディネーターの渡瀬委員より、コーディネーター研修会で配布された学校についての知識チェックの表が紹介された。

その他報告事項等

司会から、次回の会議は、4月22日(水)に開催する旨の連絡があった。